

奨学金継続に直結する考え方と家計管理

～PDCAを使った見直し～

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所

上席研究員 吉元利行

於：2023.5.31 神田外語大学



まず、現状を把握しましょう。

皆さんは、年末年始の時期に「奨学金継続願入力願」を届け出ました。

JASSO(学校)が届出を確認したところ、減額対象の扱いになりました。
主な理由：入力の誤りや、収入・支出の現状について把握していないから。

JASSO(学校)が伝えたいこと。

- ・内容に責任をもって届け出ていますか(契約者でしょう)？
- ・ちゃんと家計管理をしていますか(成人でしょう)？

継続する以上、見直しが必要です(本日まで出席)。

なぜ、今日参集となったのかをPDCAで考えると…

①

学生生活には、学費以外に衣食住(生活費)が必要。
学費も生活費も支払いには、資金(収入)が必要。
今は収入が足りない、奨学金を借りよう(契約時の考え)。

②

仕送りやアルバイトなどで収入を得ても、不足するときは？
大学生である以上、奨学金や教育ローン等が補填し易い。

③

故に奨学金を継続したい、でも継続には届出が必要。
届出には収支管理(家計管理)が必要。

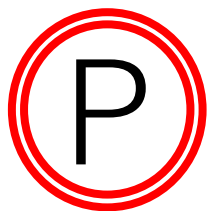
④

「でも細かくは覚えていないしなあ、こんなもんかな？」

どこかを甘く見ていませんか？

PDCA別 今回の見直しとともに考えること。

- P** JASSOや金融機関等からの借り入れには、返済計画（ご自身のシナリオ）が必要です。
- D** 奨学金や借入は、大学時代の一時的な収支の”タイムラグ”を埋めるものと考えて対応しましょう。（利用先の選択）
- C** ご自身の収支とライフスタイルに合った収支になっているかを考えましょう。
- A** 「奨学金継続届」の収支計算書は、モニタリングの一種です。（”行き当たりバッタリ”はダメ）。本来は自分でチェック！



JASSOや金融機関等からの借り入れには、返済計画(ご自身のシナリオ)が必要です。

ライフプランを考えた収支計画

必要な借入額の算出



人生の目標に従ったシナリオを意識する

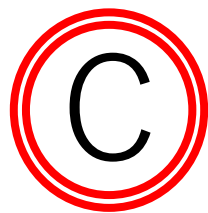
D

奨学金や借入は、大学時代の一時的な収支の”タイムラグ”を埋めるものと考えて対応する。

将来収入の「前借」との意識

(前借には、借入期間に応じた利息が発生する。)

将来の手取りへの影響を考えた
最適の補填策を実行する



ご自身の収支とライフスタイルに合った収支になっているかを考える。

判断するには、記入漏れなく、全
件記載することが必要

収支管理(家計管理)の基本

A

「奨学金継続届」の収支計算書は、モニタリングの一種。

JASSO等のモニタリングは、借り入れ期間
のみですが、

生活設計のモニタリングは、一生続きます。

日々の記録(積み重ね)が、
モニタリング対応の基礎になります

A

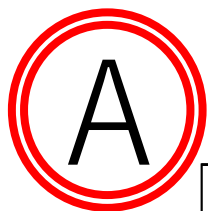
収入の状況

あなたの収入の種類	百 万	十 万	万	万円	注意事項 等
1) 家庭からの収入 (家庭から支払った、授業料/施設費等の学校納付金・自宅外通学者の家賃含む)				万円	<ul style="list-style-type: none"> 家庭があなたに代わって直接学校へ支払った額も含めて計算してください。 自宅通学者の方で家庭が負担した食費や、家庭から一般的に支出される費用のうち、あなたの分として計算することが難しい費用は、収入及び支出から除いてください。
2) 日本学生支援機構の奨学金 ※併用貸与者は第一種奨学金と第二種奨学金の合計				万円	<ul style="list-style-type: none"> あわせて含まれる「入学時特別増額貸与奨学金」 緊急採用奨学金(各種)・緊急特別優待貸与型奨学金 給付奨学金 辞退した奨学金(併用貸与であった場合いずれかを辞退した場合) 海外留学支援制度(給付金型)の奨学金 官民協働海外留学支援制度(給付金型)の奨学金
3) 日本学生支援機構以外の奨学金				万円	大学・地方公共団体・民間団体などから奨学金を受けている場合は、その年額(または8ヶ月分の金額※2021年4月入学)を記入してください。
4) アルバイト等収入				万円	
5) その他(貯蓄等の取崩額・臨時収入等)				万円	自動表示に含まれていない日本学生支援機構の奨学金も「その他」に含めてください。
収入合計				万円	分類に迷う収入については、1)~5)の中で最も近いと思われる種類に含めて問題ありません。

A

支出の状況(家族と同居している場合)

あなたの支出の種類	百万	十	万	万円	注意事項 等
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金等を含む)				万円	【含まれるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留学费、等 入学以前に授業料等や入学金を支払った場合は、授業料は1)「学費」に、入学金は5)「その他」に含めてください。 授業料等減免された場合は減免後の金額を記入してください。 ・授業料等減免除きの方は「0」を記入してください。
2) 修学費 (教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・通学費等を含む)				万円	【含まれるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・駐輪場 等
3) 食費 (外食費用)				万円	・外食したときの経費を含めてください。 ・「あなたの収入の種類」1)に家庭で負担した食費を含めた場合はその金額も含めます。
4) 通信費 (携帯電話等の通信費を含む)				万円	【含まれるもの】 携帯電話等の通信費用・インターネット費用 等
5) その他 (医療費・娯楽・嗜好費等)					【含まれるもの】 医療費・娯楽費・間食代・理容美容代・自動車学校の講習費・社会保険料 等
6) 機関保証制度の保証料(自動表示)				万円	保証料の合計(人的保証制度を選択している方は0になります。)
支出合計				万円	分類に迷う収入については、1)~6)の中で最も近いと思われる種類に含めて問題ありません。



支出の状況(家族と同居していない場合)

あなたの支出の種類	百 万	十 万	万	円	注意事項 等
1) 学費 (授業料・施設費等の学校納付金を含む)				万円	【含まれるもの】 授業料・施設費、施設設備費、実験実習費、後援会費、保険料、留學費、等 ・入学以前に授業料等や入学金を支払った場合は、授業料は1)「学費」に、入学金は6) 「その他」に含めてください。 授業料等減免された方は減免後の金額を記入してください。 授業料等全額免除された方は「0」を記入してください。
2) 修学費 (教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・ 通学費等を含む)				万円	【含まれるもの】 教科書・図書費・文具購入費・課外活動費・実習旅行費・通学費・部活動やサークル活動費・ 駐輪場
3) 家賃 (共益費等を含む。敷金・礼金等の特別支出を 除く)					【含まれるもの】 管理費 等 ※敷金・礼金等の特別支出は6)「その他」に含めてください。
4) 食費				万円	【含まれるもの】 外食費+自炊の為に材料費、食事つきの下宿などで下宿に食費として支払う額 等
5) 光熱水料通信費 (携帯電話等の通信費を含む)				万円	【含まれるもの】 携帯電話等の通信費用・インターネット費用、水道光熱費、暖房費
6) その他 (医療費・娯楽・嗜好費等)					【含まれるもの】 医療費・娯楽費・間食代・理容美容代・自動車学校の講習費・社会保険料、帰省の為に交通費 等
7) 機関保証制度の保証料(自動表示)				万円	保証料の合計(人的保証制度を選択している方は0になります。)
支出合計				万円	分類に迷う収入については、1)~7)の中で最も近いと思われる種類に含めて問題ありません。

奨学金継続に直結する考え方と家計管理

■ ご参考 在学中の減額(目安)

1 在学中の貸与総額の

貸与金額速算表

単位万円

月間貸与額	4年	3年	2年	1年
2	96	72		24
3	144	108	72	36
4	192	144	96	48
5	240	180	120	60
6	288	216	144	72
7	336	252	168	84
8	384	288	192	96
9	432	324	216	108
10	480	360	240	120
11	528	396	264	132
12	576	432	288	144

月間貸与月額9万円の人が…

そのまま	1年次から、卒業までそのままだと、貸与総額は 432万円 となります。(最大)
1年間	1年間だけ、3万円に減額すると、貸与総額は 360万円 (36+324)となります。
2年間	2年間だけ、3万円に減額すると、貸与総額は 288万円 (72+216)となります。
3年間	3年間だけ、3万円に減額すると、貸与総額は 216万円 (108+108)となります。(最小)

最大と最小の差は、**216万円** にもなります。

2 奨学金の返還年数の違い

最大	$432\text{万円} \div 21.6\text{千円} = 20\text{年} \times 12\text{回} = 240\text{回}$
最小	$216\text{万円} \div 15\text{万円} = 14.4\text{年} \times 12\text{回} = 168\text{回}$

最大と最小の差は、**6年(72回)** にもなります。

3 奨学金の返還金額の違い

最大	$432\text{万円} \div 240\text{回} = 18,000\text{円 (利子別)}$
最小	$216\text{万円} \div 168\text{回} = 12,857.14\text{円} \approx 12,857\text{円 (利子別)}$

最大と最小の差は、**5,143円(利子別)** にもなります。

4 あなたにあてはめます。

22歳で神田外語大学を卒業したあなたは、

最大	総額 432万円 を、毎月 18,000円(利子別) で、 42歳まで 返還が続きます。
最小	総額 216万円 を、毎月 12,857円(利子別) ずつ、 30歳まで 返還が続きます。

*** ご自身の奨学金については、必ずスカラネットパーソナルで確認してください。**

■ ご参考 利息・返済額の目安

1.適用される利率

	貸与区分	適用利率	
令和5年度貸与終了者	基本月額	利率固定方式	1.737%
		利率見直し方式	0.200%
	増額部分	利率固定方式	0.937%
		利率見直し方式	0.400%

※JASSOホームページ令和5年貸与利率一覧（年利%）より抜粋

2.利息を含めた返済額 【参考】

2021年4月から2025年3月まで
月額9万円 総額432万円
利息固定方式で20年間で返済した場合

○毎月の返済額 19,429円
●返済総額 4,663,033円 (+343,033)

*仮に、金利が上昇し1.3%になったら

○毎月の返済額 20,564円
●返済総額 4,935,684円 (+615,684)

※JASSOホームページ奨学金貸与・返済シュミレーションより抜粋

*仮に、金利1.3%を10年間で返済すると

○毎月の返済額 38,410円
●返済総額 4,609,200円 (+289,200)

※知るぽるとホームページ【しっかり】借入返済額シュミレーション
今すぐシュミレーションより抜粋

* ご自身の奨学金の返済額については、貸与終了の時点での適用利率を確認してください。

奨学金継続に直結する考え方と家計管理

■ ご参考 在学中の辞退(目安)

1 在学中の貸与総額の目安

貸与金額速算表

単位万円

月間貸与額	4年	3年	2年	1年
2	96	72	48	24
3	144	108	72	36
4	192	144	96	48
5	240	180	120	60
6	288	216	144	72
7	336	252	168	84
8	384	288	192	96
9	432	324	216	108
10	480	360	240	120
11	528	396	264	132
12	576	432	288	144

月間貸与月額9万円の人が…

そのまま	1年次から、卒業までそのままだと、貸与総額は 432万円 となります。(最大)
1年間	1年間だけ、辞退すると、貸与総額は 324万円 となります。
2年間	2年間だけ、辞退すると、貸与総額は 216万円 となります。
3年間	3年間だけ、辞退すると、貸与総額は 108万円 となります。(最小)

最大と最小の差は、**324万円**にもなります。

2 奨学金の返還年数の違い

最大	$432\text{万円} \div 21.6\text{千円} = 20\text{年} \times 12\text{回} = 240\text{回}$
最小	$108\text{万円} \div 9\text{万円} = 12\text{年} \times 12\text{回} = 144\text{回}$

最大と最小の差は、**8年(96回)**にもなります。

3 奨学金の返還金額の違い

最大	$432\text{万円} \div 24\text{回} = 18,000\text{円 (利子別)}$
最小	$108\text{万円} \div 14\text{回} = 7,500\text{円 (利子別)}$

最大と最小の差は、**10,500円(利子別)**にもなります。

4 あなたにあてはめます。

22歳で神田外語大学を卒業したあなたは(社会保険を使うと、返済は卒業後から)、

最大	総額 432万円 を、毎月 18,000円(利子別) の、 42歳まで 返還が続きます。
最小	総額 108万円 を、毎月 7,500円(利子別) ずつ、 30歳まで 返還が続きます。

*** ご自身の奨学金については、必ずスカラネットパーソナルで確認してください。**